

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		歴史総合(2)				
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数		
原則1年次		通年	2	6		
科目の概要	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く総合的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
科目の目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けようとする。					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲	
	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資	○私達の生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ○様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である史料を活用し、史料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	1	1	前期	
	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国	○近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、理解する。 ○18世紀のアジア諸国の経済活動、欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、18世紀アジアの経済と社会を理解する。 ○産業革命の影響によるアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを考察し、工業化と世界市場の形成を理解する。	1	1		
	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	○国民国家の形成の背景や影響などに着目して、立憲制と国民国家の形成を理解する。 ○艦庫国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。		2		
	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会	○国際秩序変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多角的に考察する。 ○第一次世界大戦と日本の関係などについて考察し、第一次世界大戦の性格や特徴、戦後の国際協調体制を理解する。	2	3	後期	
	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○経済危機の背景と影響等、各国の対応や国際協調体制の動揺について考察し、理解する。 ○第二次世界大戦の性格と影響などについて考察し、戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	2	4		
	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	○自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・文化、対立・協調などについて、事象の背景や原因、結果や影響などについて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 ○グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察する。		5		
	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	○市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察し、市場経済の掲揚と課題を理解する。 ○冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察し、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。		6		
	評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p>				
	単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間12時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>				
使用教科書等	教科書:新選歴史総合(東京書籍)					
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。					